



ニュースリリース

2025 年 7 月 28 日

日鉄エンジニアリング株式会社

日鉄パイプライン&エンジニアリング株式会社

【受注】液化 CO₂ 高流速液送技術検証設備建設工事

日鉄パイプライン&エンジニアリング株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：鈴木隆、以下「当社」）は、このたび、日本 CCS 調査株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中島俊朗、以下「JCCS」）より「液化 CO₂ 高流速液送技術検証設備建設工事」を受注しましたので、お知らせいたします。

本工事は、JCCS が国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）から受託した「CCUS 研究開発・実証関連事業／苫小牧における CCUS 大規模実証試験／CO₂ 輸送に関する実証試験／CO₂ 船舶輸送に関する技術開発および実証試験」のうち、低温低圧条件における液化 CO₂ の配管内流速の増加に伴う課題の特定と安全性の検証を行うため、400ton 液化 CO₂ タンクの新設を含む液化 CO₂ 輸送の検証試験設備を建設するものです。

当社はこれまで、低温低圧条件下における液化 CO₂ の大量輸送の実現に必要な液化 CO₂ タンクの大容量化に取り組んでおり、貯蔵容量 1 万 ton 以上の液化 CO₂ タンク建造を目指して日本製鉄株式会社製の低温用鋼 N-TUF[®]490^{※1} の採用を前提に、各種の技術検討を行ってきました。本工事においても、今後の液化 CO₂ タンクの大容量化に向けて低温用鋼 N-TUF[®]490 の採用を予定しております。

なお当社は、本年 5 月 12 日付で公表の通り、プラント事業を本年 10 月 1 日（予定）に会社分割の方法により日鉄エンジニアリング株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：石俣行人）へ承継することを決定しており、本件も当該承継の対象事業となっております。

日鉄エンジニアリンググループは、各種エネルギープラントの設計・建設で培ってきた技術と知見を活かし、脱炭素社会の実現に向けて液化 CO₂ の大量・高速輸送などさまざまな技術開発に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

※1 N-TUF は日本製鉄株式会社の登録商標です。

【お問い合わせ先】

日鉄パイプライン&エンジニアリング株式会社

総務部 総務室 [お問い合わせフォーム\(総合\)](#)

以上